

# 神宮前小学校 学校経営方針「2026年度 未来の学校ビジョン」

渋谷区教育大綱 (令和6年2月策定) 渋谷区教育委員会の教育目標 (令和8年2月策定)  
つくろう。ちがいを活かし合える、未来の学校。  
未来の学校では、子どもたちの「好き」とことん追究し、先生や友達、地域、社会とともに「本気でやりたいことに」挑戦していきます。

「未来の学校」で大切にする、7つの力  
～子どもたちが自ら、自分の可能性を発見していくために～  
「基礎」「共感」「協働」「探究」「自律」「挑戦」「創造」

開校96周年を迎えた本校では、予測困難な未来に生きる子供たちが、自立した人間として力強く生きていくために、特色ある教育活動である「特別活動」を軸とし、縦割りでの水車班活動の日常化と学級活動や委員会活動などを通じた子供主体の学校づくりを進めるとともに、シブヤ未来科を中心とする子供自ら学びをつくる探究学習を中心にして、7つの力を備え、多様な人、もの、ことと豊かに関わり、自主性や探究心、粘り強さ、自制心、協調性などの、人間力の基盤となる非認知能力を育てる学校を目指す。

## 学校教育目標

児童、教職員、保護者・地域等のそれぞれが協働しながら、自己や社会の未来を豊かに主体的に創造していく児童の育成を目指して、よりよい教育活動を推進していく。

- ◎自ら考え、高め合う子ども (探究 協働 基礎)
- ◎進んで実行し、つくりだす子ども (挑戦 創造)
- ◎自分も友達も大切にする子ども (共感 自律)

## 子供主体の

みんなが愉しめる、みんなの学校生活が豊かになる学校づくり

特色:「特別活動」を軸とした、子供主体の未来の学級・学校づくり

子供主体の学びづくり  
探究「シブヤ未来科」の推進

- 学級活動を要とした、よりよい学級集団の形成、学級の絆づくり、みんなが愉しめる活動づくりに向けた子供主体の対話による学級づくり
- 委員会活動において、みんなの学校生活をより豊かにするためのアイデアを出し合うことによる子供発信の学校づくり
- 縦割り班活動を日常化し、異年齢交流の充実を図り、自己肯定感の向上や上級生から下級生への思いやり、下級生から上級生への憧れの心情等を育てるなど、互恵性のある子供主体の仲間づくり

## 効果的なデジタルベースの授業への転換

主体的・対話的で深い学びの視点から

### 授業観の転換

一人一人を伸ばす  
個別最適な学びと  
協働的な学びの推進

×  
ICTの自律的な活用能力の育成  
(デジタル・シチズン・シップ)

- 総合的な学習の時間における本質的な探究の具体化に向けた研究を一層推進し、探究学習の質的向上を図る。
- 探究「シブヤ未来科」で育成すべき自己調整力、創造力、挑戦力の評価規準の明確化
- 学習支援アプリ「MetaMoji」やコミュニケーションツールを活用し、多様な考えから新たな考えを広げ深める「対話的な学び」をつくりだす授業への転換
- デジタル教科書、教材等、デジタルを基本としたICTの効果的・効率的な活用による個別最適な学びの充実
- My探究での社会貢献を通じた自己有用感の醸成やICTの自律的な活用能力の育成

## 校務DX(働き方改革)

- 生活時程の繰り上げによる時間創出とその有効活用、ティーチャーズラーニングデーにおける研究・研修による学び続ける教員の力量向上
- 連絡手段を Teams に一本化した、迅速な校内情報共有
- 文書管理等のデジタル化を進めたペーパーレス化と業務の効率化
- 教職員の電子決裁システムを通じた決裁プロセスの効率化

## 安心・安全に挑戦できる環境

- 学習の見通しがもてる学習環境の調整
- HACHI アプリの「いまの気持ち」や教育ダッシュボード等の活用による子供の SOS のいじめの早期発見・解決や「スタンバイルーム」の活用による不登校の未然防止、居場所づくり
- 「いじめ防止学習プログラム」を活用した「いじめ防止授業」「人権DAY」等人権教育プログラムに基づく人権尊重の理念や道徳教育での「思いやり・親切」「規則の尊重」「公正・公平」を重点とした、自他の大切さを認めることの体得

## 地域との連携・共創

- コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会との連携・共創に努め、探究「シブヤ未来科」やキャリア教育等における、現地見学やゲストティーチャー等による本物との出会いの充実
- 地元商店街、企業、地域の施設を活用し、渋谷区の地域社会への誇りと愛着をもち、地域と結び付いた学習の充実
- 学校ホームページや学校だより等を中心とした子供たちの学ぶ姿の情報発信